

# ユーザーストーリー: ファースト・ジェネレーション



**Scrum Gathering Tokyo 2011**

2011年10月22日

ワイクル株式会社 取締役

角 征典 a.k.a. **kdmsnr**

[kado.masanori@waicrew.com](mailto:kado.masanori@waicrew.com)

# 本日の想定する**参加者**

---

- ソフトウェア開発の関係者である
- スクラムの基礎知識がある
- ユーザーストーリーを使ったことがない／うまく使えない

Q. 「**対象外**の人はいいますか？」

**対象外**であっても楽しんでいってください＞＜

# 角 征典 - kdmsnr



## ユーザーストーリー ビギンズナイト



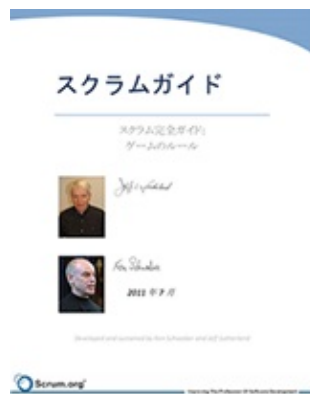
at 第11回すくすくスクラム  
2010年2月25日

ワイクル株式会社 取締役 角 征典  
<kado.masanori@waicrew.com>

Copyright 2010 ワイクル株式会社 | Powered by Rabbit 0.6.2

[http://www.slideshare.net/  
SukusukuScrum/no01101suc3rum20100225](http://www.slideshare.net/SukusukuScrum/no01101suc3rum20100225)

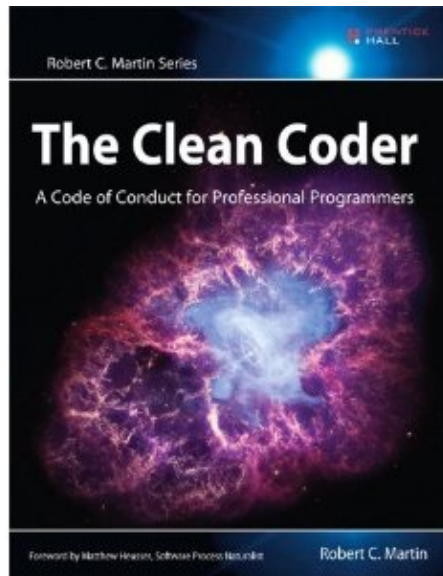
# 角 征典 - kdmsnr



# 角 征典 - kdmsnr



鋭意翻訳中!!





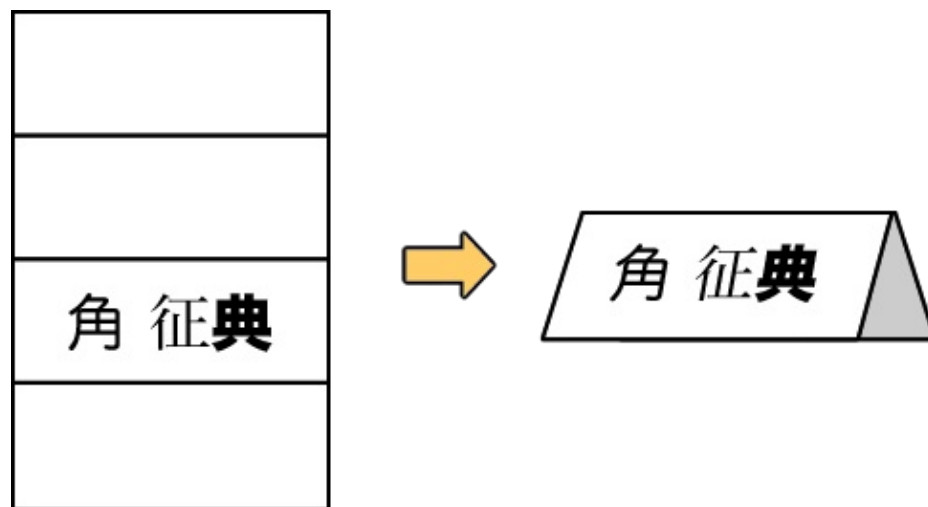
# グループづくり

- できるだけ知らない人同士で
- うまく「多様性」ができるように
- n**人のグループを作ってください



# ネームプレートづくり(5分)

A4用紙でネームプレートを作ってください



1人ずつ**自分の名前**と**その文字**を紹介して、  
グループの人に**1人1文字ずつ**書いてもらってください。

- ※ 本名が嫌ならIDやニックネームでもOK
- ※ 文字数や人数が足りなければ、適宜調整してください

# これから**お話**すること

---

**目標** 「ユーザーストーリーの **思考方法** を身に付ける」

- 第1部：ユーザーストーリーの **物語**
- 第2部：**実例**による仕様
- 第3部：**パターン**、**リーン**、ユーザーストーリー



10分経過

13:30

残り110分

# 第1部

## ユーザーストーリーの物語

# 石のスープのおはなし



「それでは、おれが、石を、スープに入れておくれんか、  
それら、できるだけ、まるくて、ずばずばした、やつを、  
さ、へいだいたちは、いれました。  
それら、おやさい、ごまう、せんを、石なら、すぐに  
みつかります。村のじいさんは、へいだいが、なべに、石を  
いれるのを、めを、まるくして、みつめました。」

『せかいいち おいしいスープ』（マーシャ・ブラウン）

<http://www.amazon.co.jp/dp/4001112175>

# ユーザーストーリーのスープ

---

- それ自体は大したことがない
  - 要求を網羅した仕様書ではない
- 会話のきっかけとなるもの
  - みんなで情報や一時成果物を集める
- 最初から最終成果物はわからない
  - 創発的 (emergent) なものである

# XPのストーリーカード



Customer Story and Task Card

DATE: 3/19/91 TYPE OF ACTIVITY: NEW: ☒ FIX: ☐ ENHANCE: ☐ FUNC. TEST: ☐

STORY NUMBER: 1275 PRIORITY: USER: ☐ TECH: ☐

PRIOR REFERENCE: ☐ RISK: ☐ TECH ESTIMATE: ☐

TASK DESCRIPTION:  
SPLIT COLA: When the COLA rate changes in the middle of the B/W Pay Period, we will want to pay the 1<sup>st</sup> week of the pay period at the OLD COLA rate and the 2<sup>nd</sup> week of the pay period at the NEW COLA rate. Should occur automatically based on system design.

NOTES:  
For the OT, we will run a m/f frame program that will pay or calc the COLA on the 2<sup>nd</sup> week of OT. The plant currently retransmits the hours data for the 2<sup>nd</sup> week exclusively so that we can calc COLA. This will come into the Model as a "2144" COLA

TASK TRACKING: Gross Pay Adjustment, Create RM Boundary and Place in DEB-Exp COLA

Date	Status	To Do	Comments

『Extreme Programming Explained: Embrace Change』 (Kent Beck) 1999年

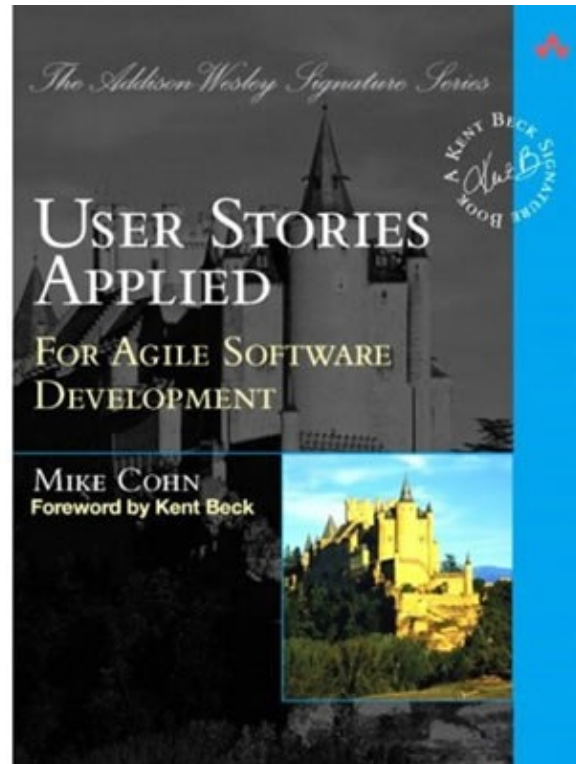


# <お話を聞かせてください>

- 開発者が要求を「記述」してはうまくいかない。
- 要求の「自由」と「責任」をビジネスと分担するのがいいと思う。
- ビジネスが積極的に関わってくれるような「形」が大事だ。

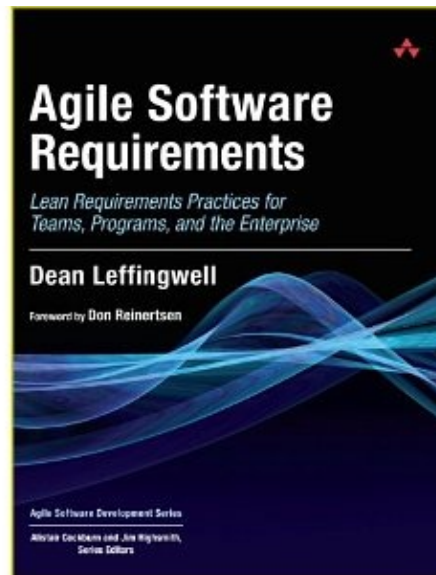
[http://c2.com/cgi/wiki?  
UserStoryAndUseCaseComparison](http://c2.com/cgi/wiki?UserStoryAndUseCaseComparison)

# ユーザーストーリーの手法化



『User Stories Applied: For Agile Software Development』 (Mike Cohn) 2004年

# アジャイルソフトウェア要求



『Agile Software Requirements: Lean Requirements Practices for Teams, Programs, and the Enterprise』 (Dean Leffingwell) 2011年



# ユーザーストーリーって何？

“ ユーザーや顧客のシステム要求が完了できるように、関係者全員がわかる言葉で理解していくためのもの。  
— 角 征典

※なかなか良い定義がなかったから自分で定義した!!

# ユーザーストーリーって何？

---

- (1) システム要求が
  - ビジネスとソフトウェアの間（海面）
- (2) 完了できるように
  - 終わりが見えなければいけない
- (3) 理解していくためのもの
  - 記述ではなく段階的に共有理解する



# これユーザーストーリー？

**理由**も一緒に話し合ってください（8分）

1. アンドゥは50回まで
2. 10/22までにシステムを利用可能にする
3. 画面遷移なしでカートに商品を追加できる
4. Ruby on Rails 3.1で開発する
5. JSONでデータを出力する
6. 出荷済商品を検索できる
7. システム導入後の売上を1.5倍にする
8. VOCの数値を入力する



# これユーザーストーリー？

「場合による」ことが多いけど……。

1. △ アンドゥは50回まで
2. ✕ 10/22までにシステムを利用可能にする
3. △ 画面遷移なしでカートに商品を追加できる
4. ✕ Ruby on Rails 3.1で開発する
5. △ JSONでデータを出力する
6. ○ 出荷済商品を検索できる
7. ✕ システム導入後の売上を1.5倍にする
8. △ VOCの数値を入力する

25分経過

13:45

残り95分

# 三幕構成 by connextra

---

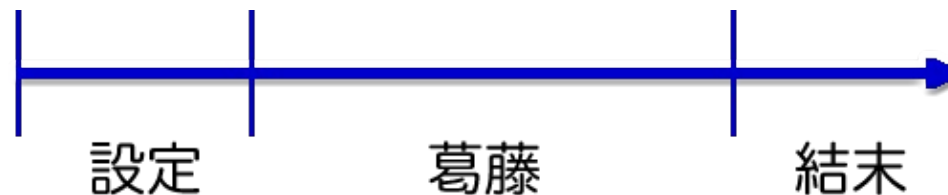
1. <役割>として、
2. <対象>を（に）<行為>したい。
3. それは<価値>のためだ。

参考：『アジャイルな見積りと計画づくり』  
<http://www.amazon.co.jp/dp/4839924023>

**これは覚えて帰ってください!!**

# 三幕構成は「物語の形式」

物語を書くようにユーザーストーリーを書く



1. **設定** (誰がどんな状況なのか)
2. **葛藤** (何ができないのか)
3. **結末** (何が欠かせないのか)

『映画を書くためにあなたがしなくてはならないこと』

<http://www.amazon.co.jp/dp/4845909278>

# たとえば、映画「**ロッキー**」

1. **設定**：ペットショップの店員に恋する三流ボクサーとして、
2. **葛藤**：世界チャンピオンとのタイトルマッチに挑戦したい。
3. **結末**：それは自分がゴロツキではないことを証明するためだ。

参考：[http://ja.wikipedia.org/wiki/ロッキー\\_\(映画\)](http://ja.wikipedia.org/wiki/ロッキー_(映画))





## 設定を探せ（2分）

sgt2011 に来てるのはどんな人？

まずは自分の設定をカードに書いてみよう。

“ “ （例）スクラムに興味があるマネー  
ージャとして、sgt2011に行きたい。



# 設定を作るヒント

- 既知の**事実**（自分や知人から）
- **観察**や**インタビュー**
  - Contextual Inquiry
  - 師匠と弟子モデル
- **葛藤**から仮説→**調査**
- 勝手な想像で**ペルソナ**を作るくらいなら、**実在の人物**を設定する



# 結末を探せ（5分）

sgt2011に行った結末は？

まずは自分の結末をカードに書いてみよう。

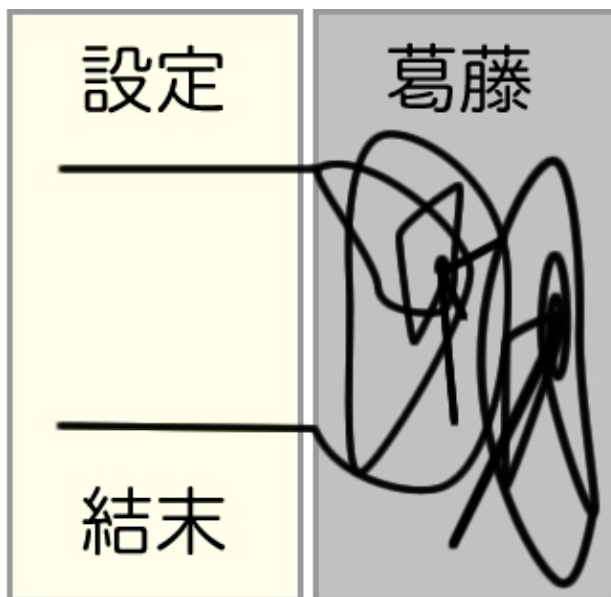
続いてグループで自分以外のストーリーを書いてみよう。

“（例）スクラムに興味があるマネージャとして、sgt2011に行きたい。それは実際の導入事例を知るためだ。



# 設定と結末を大切に

葛藤はいろいろあるけれど、



物語はすべて「**行きて帰りし物語**」である。

## (参考) 価値を重視した記法

---

フィーチャーインジェクションテンプレート

1. <価値>のために、
2. <役割>として、
3. <対象>を（に）<行為>したい。

45分経過

14:05

残り75分

# 良いユーザーストーリーとは？

**INVEST** by  **Bill Wake**

[I]ndependent - 非依存  
[N]egotiable - 交渉可能  
[V]aluable - 価値がある  
[E]stimatable - 見積り可能  
[S]ized Right - 適切な大きさ  
[T]estable - テスト可能

次の計画づくりに使えるかどうかが大事

# 良いストーリー（物語）とは？

続きが気になるもの



<http://ja.wikipedia.org/wiki/シェヘラザード>





## もっと詳しく (8分)

- 1人が自分のストーリーを発表して
- みんなでオープンクエスチョン\*を  
していきましょう。
- 時間が余れば、次の人が自分の  
ストーリーを発表してください。

[\*] 答えがYES/NOにならない質問



# ここまでのまとめ

---

ユーザーストーリーは、

- 石である
- 物語のように三幕構成で書く
- 続きが気になったら質問する

55分経過

14:15

残り65分

## **第2部 実例による仕様**

# **Specification by Example**

# 3行でいいの？ 楽勝www問題

---

- いい時もあるあれば悪い時もある
- 「記述」が最終目標じゃないよ！
- 「横」が決まったら次は「縦」


# INVEST by Bill Wake

---

■ テスト可能であること

- 完了や受入が可能であること

# 「テスト」って言葉が微妙すぎ

原因はもちろん ⇒ 

“ 2000年にXPメーリングリストで提唱（その後、論争）

<http://c2.com/cgi/wiki?AcceptanceTest>

# MF's Bliki - 実例による仕様

“ XP/Agile Universe 2002でSbEに  
心を奪われた

[http://capsctrl.que.jp/kdmsnr/wiki/bliki/?  
SpecificationByExample](http://capsctrl.que.jp/kdmsnr/wiki/bliki/?SpecificationByExample)



# (例) 年次有給休暇 - 日数

- 使用者は、その雇入れの日から起算して6箇月間継続勤務し全労働日の8割以上出勤した労働者に対して、継続し、又は分割した10労働日の有給休暇を与えなければならない（労働基準法第39条第1項）。
- さらに1年間、8割以上継続出勤することにより有給休暇は10労働日に加えて勤続2年6箇月目まで1労働日ずつ加算して付与され、勤続3年6箇月目からは2労働日ずつ加算して付与される。勤続6年6箇月経過時には20労働日に達し、以降は1年間の継続勤務ごとに20日を付与すればよい（労働基準法第39条第2項）。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/年次有給休暇>

# (例) 年次有給休暇 - 日数

**表**にするとわかりやすい!!

継続勤務年数	0.5 年	1.5 年	2.5 年	3.5 年	4.5 年	5.5 年	6.5年以 上
法定最低付与 日数	10 日	11 日	12 日	14 日	16 日	18 日	20日
上記を上回る日数の加算は法定外となるので使用者の自由裁量となる。							

※実際には有効期限（2年）があるので面倒だけど。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/年次有給休暇>

# INVEST by Bill Wake

---

## ■ テスト可能であること

- 完了や受入が可能であること

## ■ 実例が思い浮かぶこと

- ストーリーカードの裏側にメモる

# ストーリーの裏書こわい!!



『ナニワ金融道 (2)』 (青木雄二)

<http://www.amazon.co.jp/dp/4062605511>

# INVEST by Bill Wake

---

## ■ テスト可能であること

- 完了や受入が可能であること

## ■ 実例が思い浮かぶこと

- ストーリーカードの裏側にメモる
- 書きすぎて契約みたいになると困る

「受入可能」  
なのに  
「書きすぎない」  
って何なんだよ！

# 裏書 のヒント



# 1. チームで**一緒**に作る

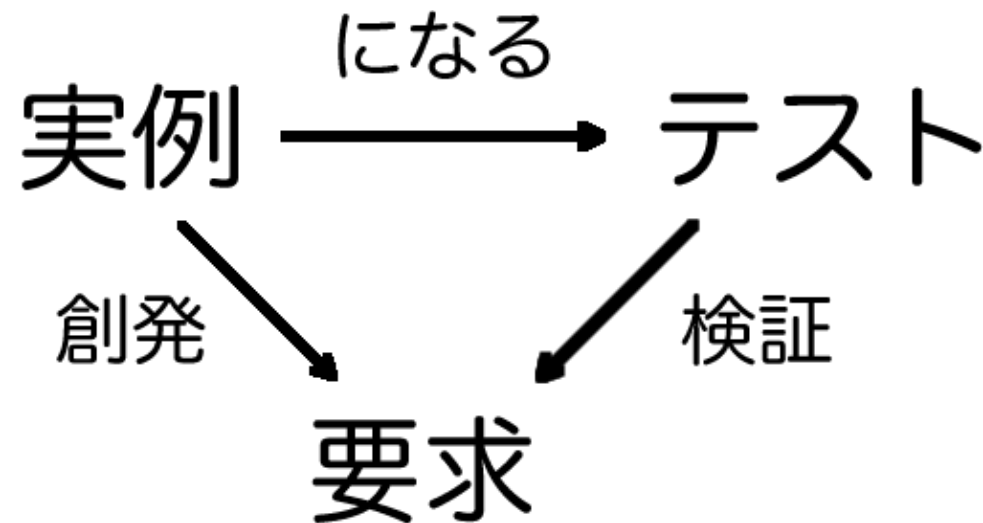


『Wiki Way コラボレーションツールWiki』でチーム萌え



## 2. 実例（例えば...）から開始

テストは段階的に整理していく



『Bridging the Communication Gap』 (Gojko Adzic)

### 3. ツールの記法を参考にする

---

いずれもユーザーの視点から (ATDD)

#### ■ 表形式

- FIT/FitNesse, Selenium, Robot Fw

#### ■ テキスト形式

- Exactor, TextTest

#### ■ Gherkin (GWT) 形式

- Cucumber, Cuke4Nuke

# GWTの日本語化

```
$ cucumber --i18n ja
| feature           | "フィーチャ", "機能"
| background        | "背景"
| scenario           | "シナリオ"
|
|
```

■ Given ⇒ 前提 ...

■ When ⇒ もし ...

■ Then ⇒ ならば ...

## 4. 晴れの日と雨の日のシナリオ

---

- 晴れの日（正常系）を中心に
- 雨の日（異常系）を追加的に

降水確率はかなり高め!!

# (例) ATM利用の晴れの日

---

顧客として、ATMからお金を引き出したい。

- シナリオ: お金を正常に引き出す
- 前提 口座に10万円入っている
- もし 金額に30,000円と入力する
- ならば 3万円が引き出されていること

# ヒント1~4のまとめ

---

チームで一緒に  
実例を使いながら、  
ツールの記法を参考に  
晴れと雨を意識する。



## 雨の日のシナリオ（8分）

顧客として、ATMからお金を引き出したい。

■ シナリオ: [\_\_\_\_\_]

■ 前提 [\_\_\_\_\_]

■ もし [\_\_\_\_\_]

■ ならば [\_\_\_\_\_] いること

グループでいくつか作ってみてください。



## ここまでのまとめ

---

- 最初から**テスト**を目指さない
- **実例**を使う（例：10万や3万）
- **チーム**で一緒に考える
- **自動化ツール**の記法で考える
- とりあえず**晴れの日**を考える



75分経過

14:35

残り45分

# (参考) GWTも**三幕構成**である

- 前提 口座に10万円入っている  
⇒ **状況や設定**
- もし 金額に30,000円と入力する  
⇒ **葛藤や行動**
- ならば 3万円が引き出されていること  
⇒ **理由や結末**

# 第3部 パターン、リーン、 ユーザーストーリー

# 「物語はありません」 問題



「仮面ライダー W&ディケイド MOVIE対戦2010」より

# 物語のない**2つ**の難しさ

## ■ **Complicated** (入り組んだ)

- 全体 = 合計(部分)
- 例：機械の部品

## ■ **Complex** (複雑な)

- 全体  $\neq$  合計(部分)
- 例：生命的なもの

# Complicated

---



<http://www.amazon.co.jp/dp/B002YK5T9G>

# Complex

---



<http://www.amazon.co.jp/dp/B000S0HZYG/>

# Complicated

---



<http://www.amazon.co.jp//dp/B004S8MKW6/>



# Complex

---



<http://www.amazon.co.jp/dp/B004S8MKJY>

※魂を持つ「超ロボット生命体」



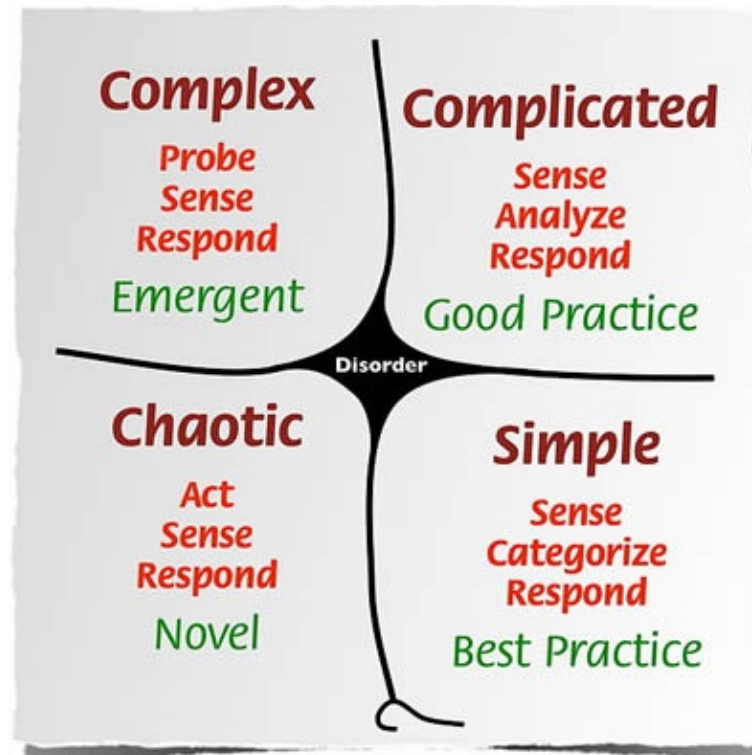
## 2つの難しさ（3分）

- 身近にある **Complex** なものと **Complicated** なものについて、
- グループで話し合ってください。

※ これ自体が「難しい」ワークショップですが><

# 複数の**難しさ**に対応する

## クネビンフレームワーク



<http://en.wikipedia.org/wiki/Cynefin>

# Complexの対応指針

- 何がわからないかわからない
- 探索 → 把握 → 対応
- 環境を整えて実験を繰り返す
- 相互交流とコミュニケーション
- パターンを創発する

『ハーバード・ビジネス・レビュー』2008年3月号

パターンを創発する

# Complicatedの対応指針

---

- 「わからない」と認識している
- 把握 → 分析 → 対応
- 因果関係を探せば見つかる
- 意思決定に時間がかかる

『ハーバード・ビジネス・レビュー』2008年3月号

意思決定に  
時間がかかる



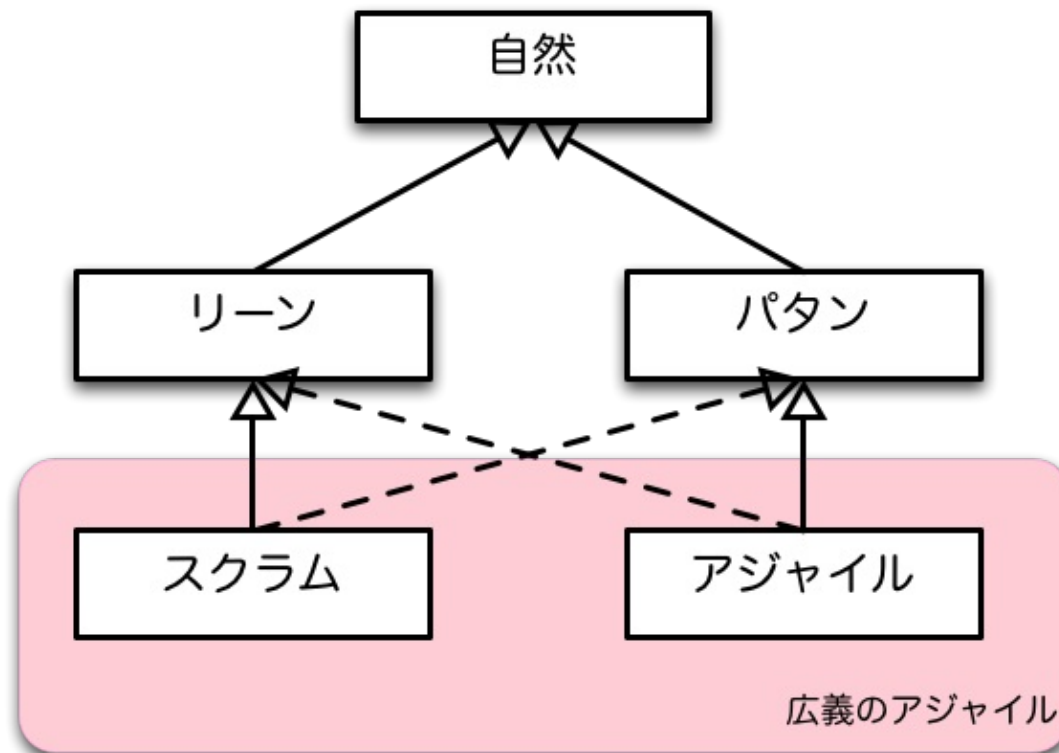
探せば見つかる

# ザ・トヨタウェイ：原則13

“意思決定はじっくりコンセンサスをつくりながら、あらゆる選択肢を十分に検討するが、実行は素早く行う（根回し）。

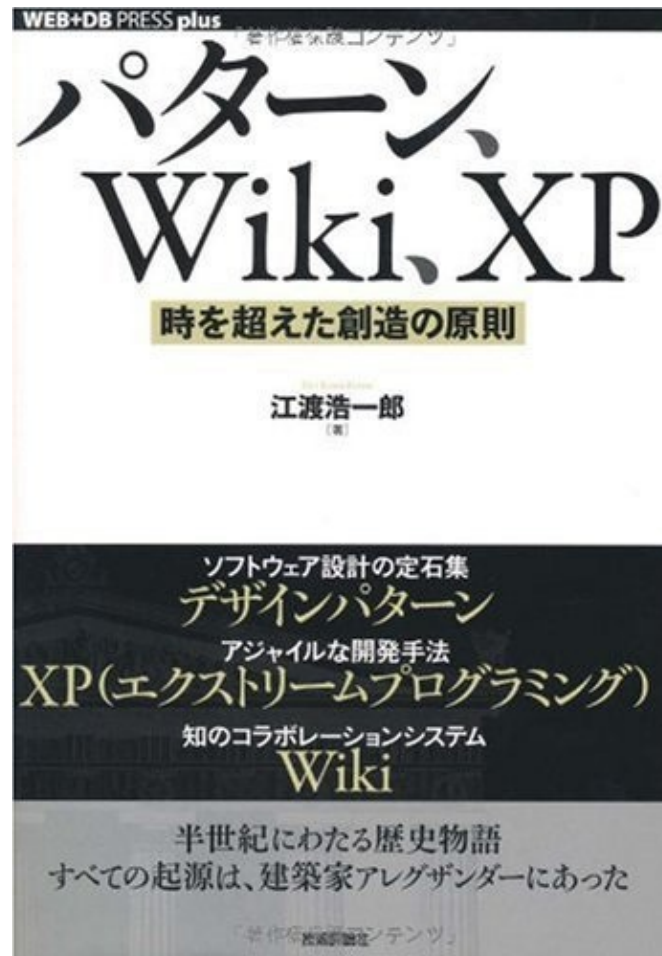


# パターン & リーンを思い出せ

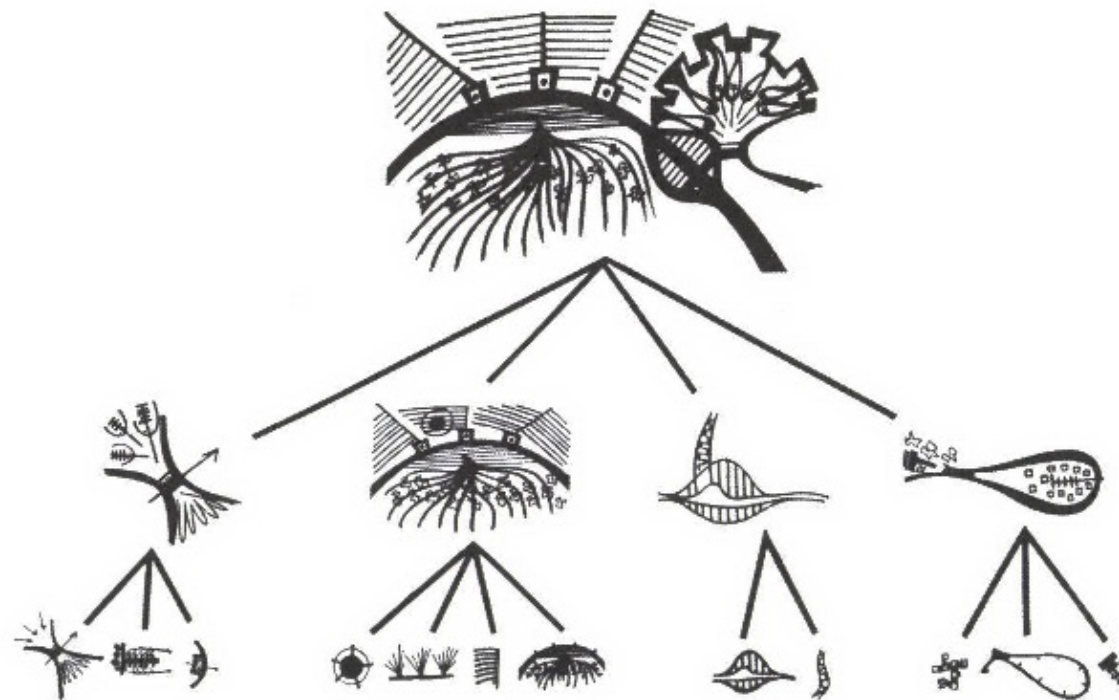


参考：<http://objectclub.jp/event/2010alexande>

# パターン、Wiki、XP



# 都市はツリーではない

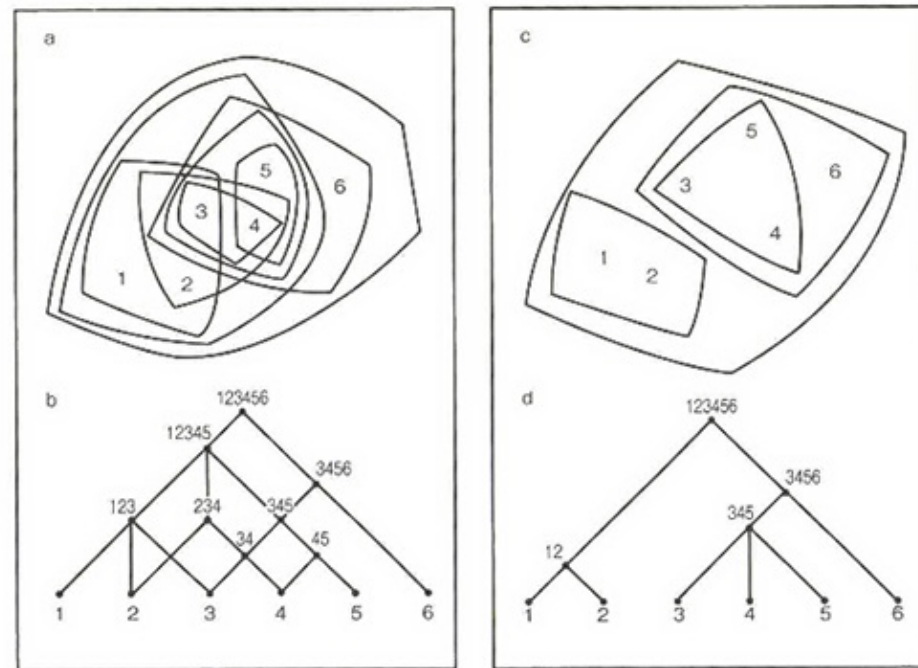


❖図1.4 インドの村の分析を1つにまとめたダイアグラム

※C. アレグザンダー 著／稲葉武司 訳『形の合成に関するノート』鹿島出版会、1978、p.138

『パターン、Wiki、XP』（江渡浩一郎）p.17より

# 都市はツリーではない



❖図1.6 セミラティス構造(a, b)とツリー構造(c, d)

※ Christopher Alexander, "A city is not a tree", Architectural Forum, Vol.122, 1965(磯崎新著『建築の解体——一九六八年の建築情況』鹿島出版会、1997、p.178より)

『パターン、Wiki、XP』（江渡浩一郎）p.21より

# ストーリーはツリーではない



※写真はイメージです

# アレグザンダーの6つの原則

1. 有機的秩序の原則
2. 参加の原則
3. 漸進的成長の原則
4. パターンの原則
5. 診断の原則
6. 調整の原則

※青色はユーザーストーリーと関係のある原則  
参考：『パターン、Wiki、XP』（江渡浩一郎）



# 17章. EPISODES



- 製品始動計画パターン
- 市場のおさらいパターン
- 暗黙の要求事項パターン
  - 翻訳が悪い (Implied : 暗示的)
- 作業待ち行列パターン


ユーザーストーリーは  
パターンである



パターンであれば、  
パターンのように生成  
……できるはず。

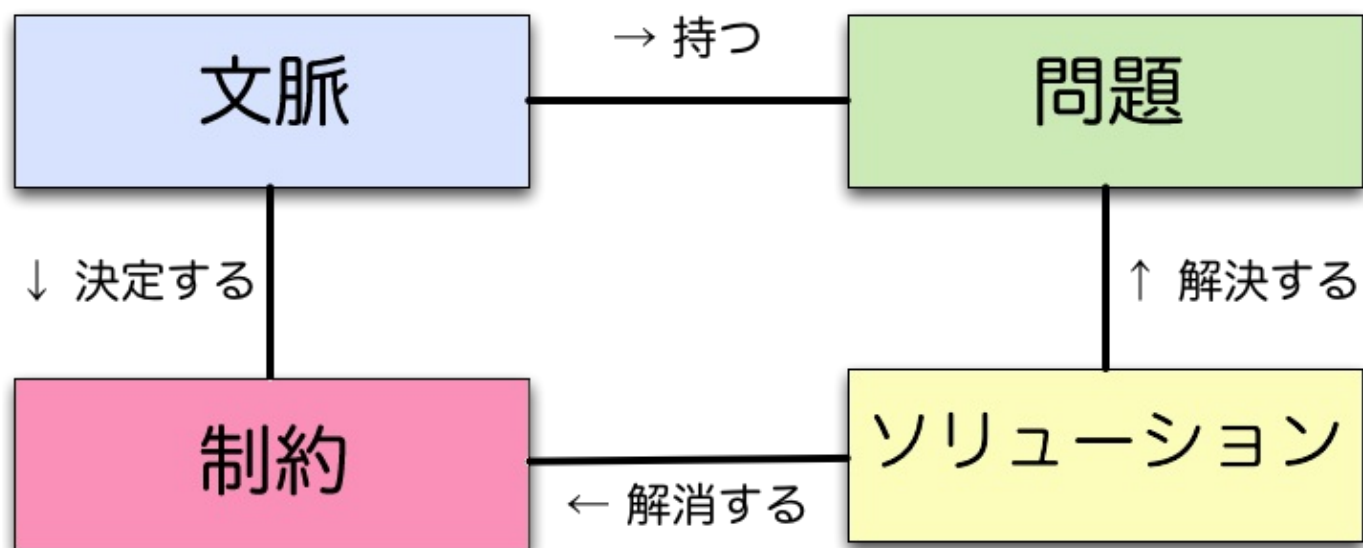
# パターン by C. アレグザンダー

“ある「文脈」で繰り返し起きる「問題」を「解決」する方法。その方法にはいくつかの「制約」が課せられてい

るかもしれない。 —  結城浩

<http://www.hyuki.com/dig/patlang.html>

# パターンの構造



参考 : A Pattern Language for Pattern Writing (Gerard Meszaros, Jim Doble)

参考 : パターンランゲージ2010 Class #9 Pattern Writing, part 2 (井庭 崇)

# パターンのように**生成**する

---

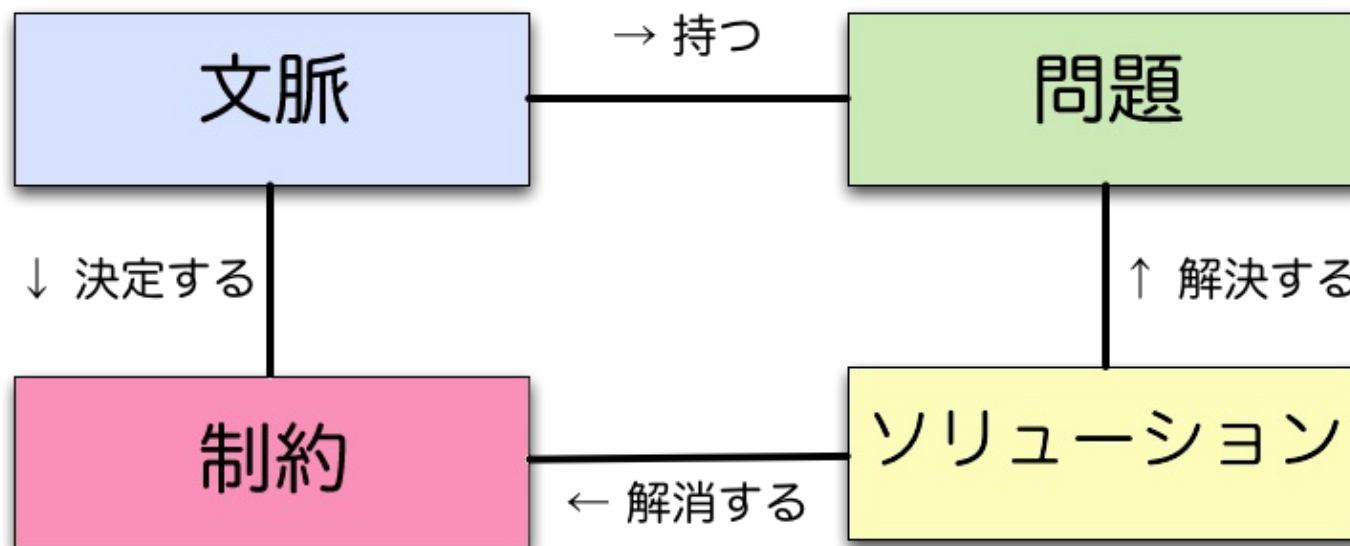
1. うまくいっている 事例から
2. うまくいっていない 事例から
3. 理論的な側面から

参考：パターンランゲージ2010  
Class #5 Pattern Mining (井庭 崇)

[http://gc.sfc.keio.ac.jp/cgi/class/class\\_top.cgi?  
2010\\_25136](http://gc.sfc.keio.ac.jp/cgi/class/class_top.cgi?2010_25136)

# パターンの**構造**と**生成**

- うまくいっている事例 ⇒ 「ソリューション」 起点
- うまくいっていない事例 ⇒ 「問題」 起点
- 理論的な側面 ⇒ 「文脈」「制約」 起点

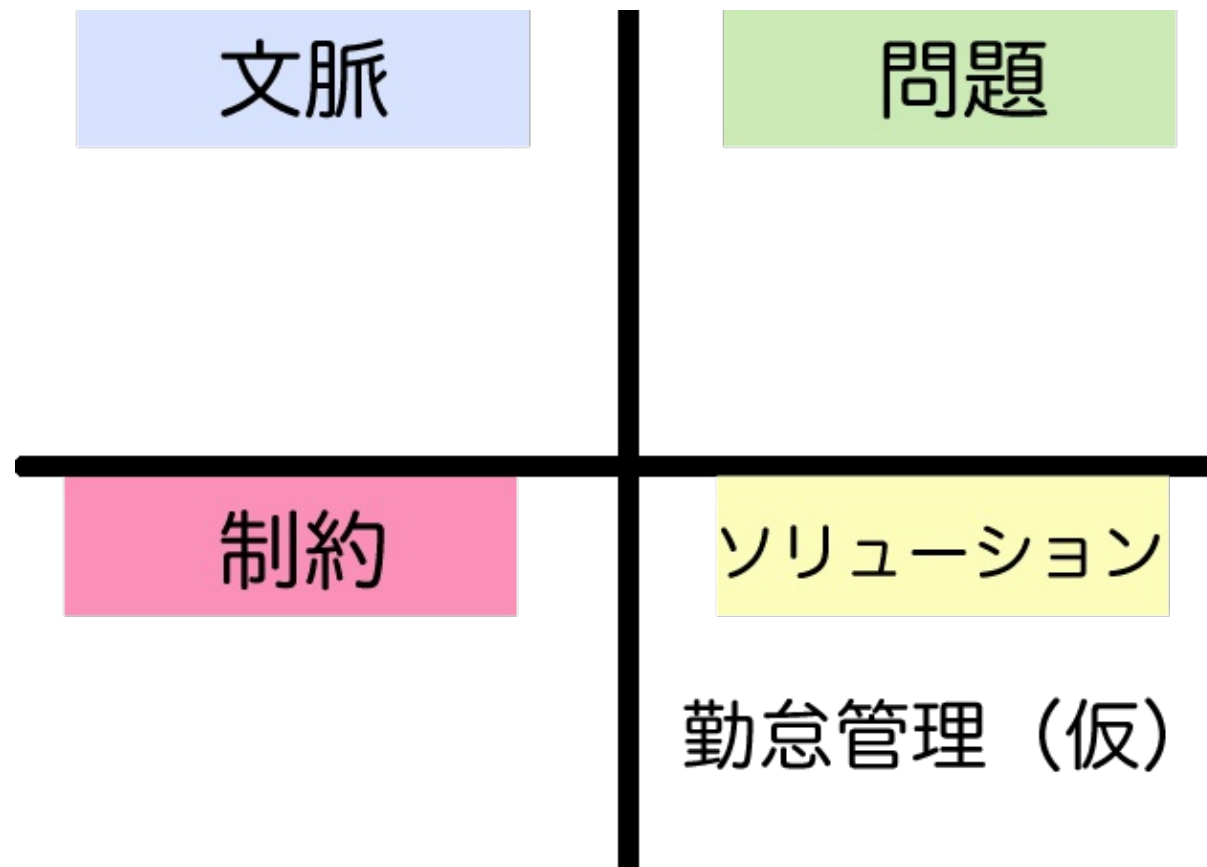


参考：A Pattern Language for Pattern Writing (Gerard Meszaros, Jim Doble)

参考：パターンランゲージ2010 Class #9 Pattern Writing, part 2 (井庭 崇)

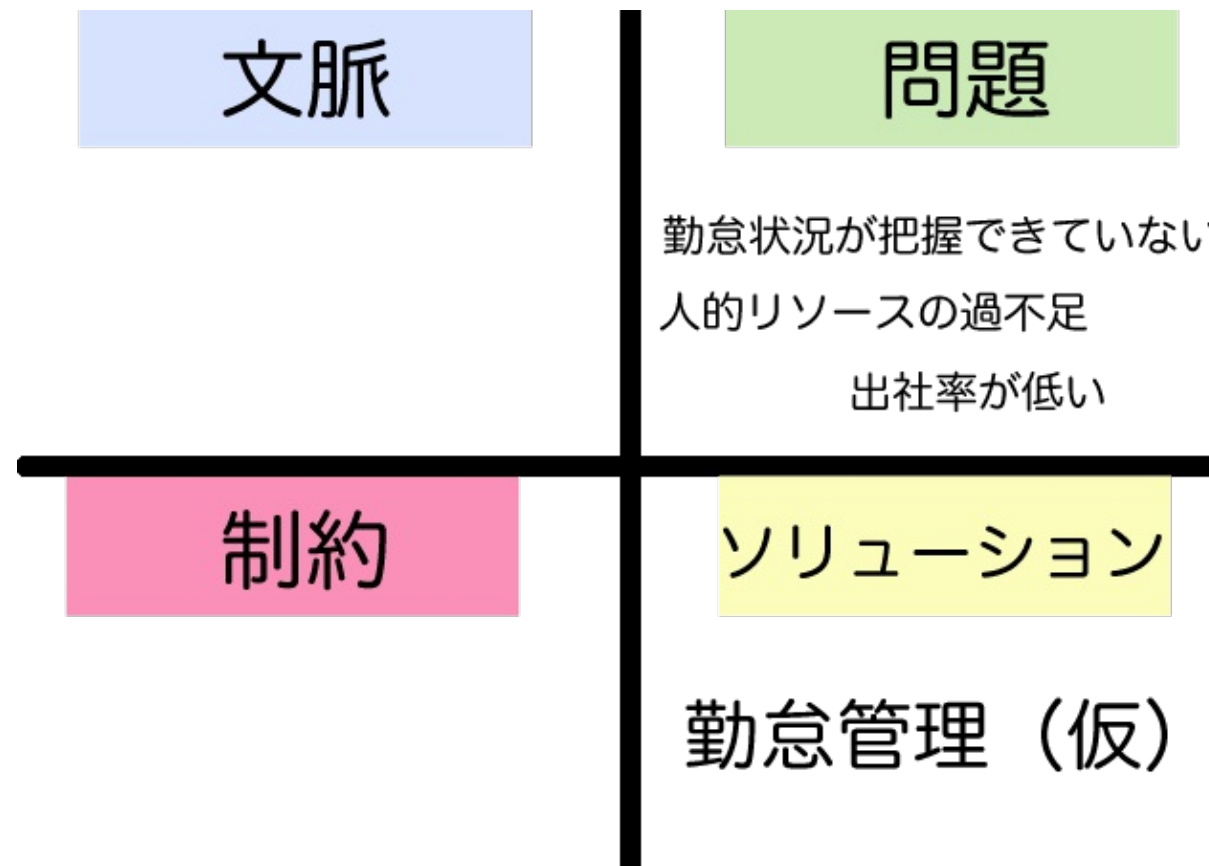
# (例) 勤怠管理を導入したい

テーマをソリューションに仮置きして開始



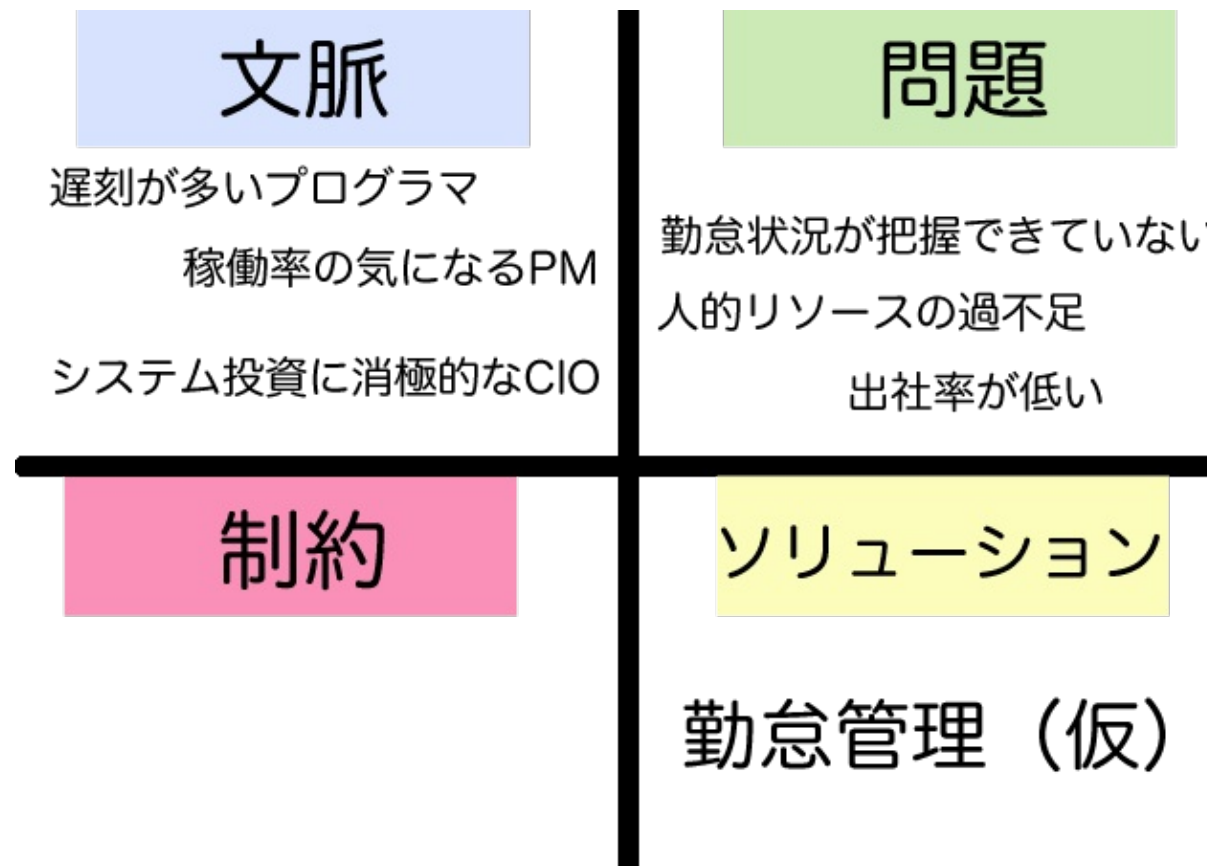
# (例) 勤怠管理を導入したい

それが**解決しそう**な**問題**を列挙



# (例) 勤怠管理を導入したい

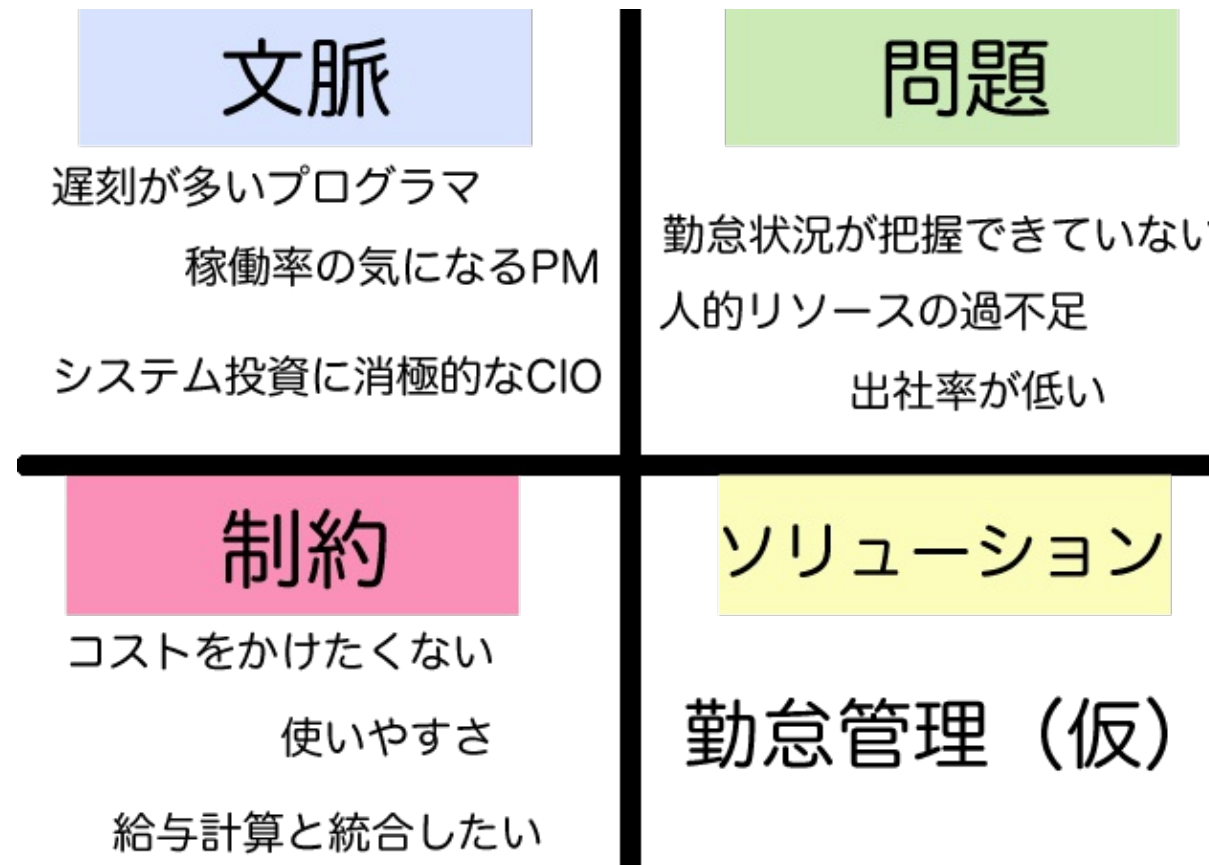
問題を**持っていそう**な**文脈**を想像





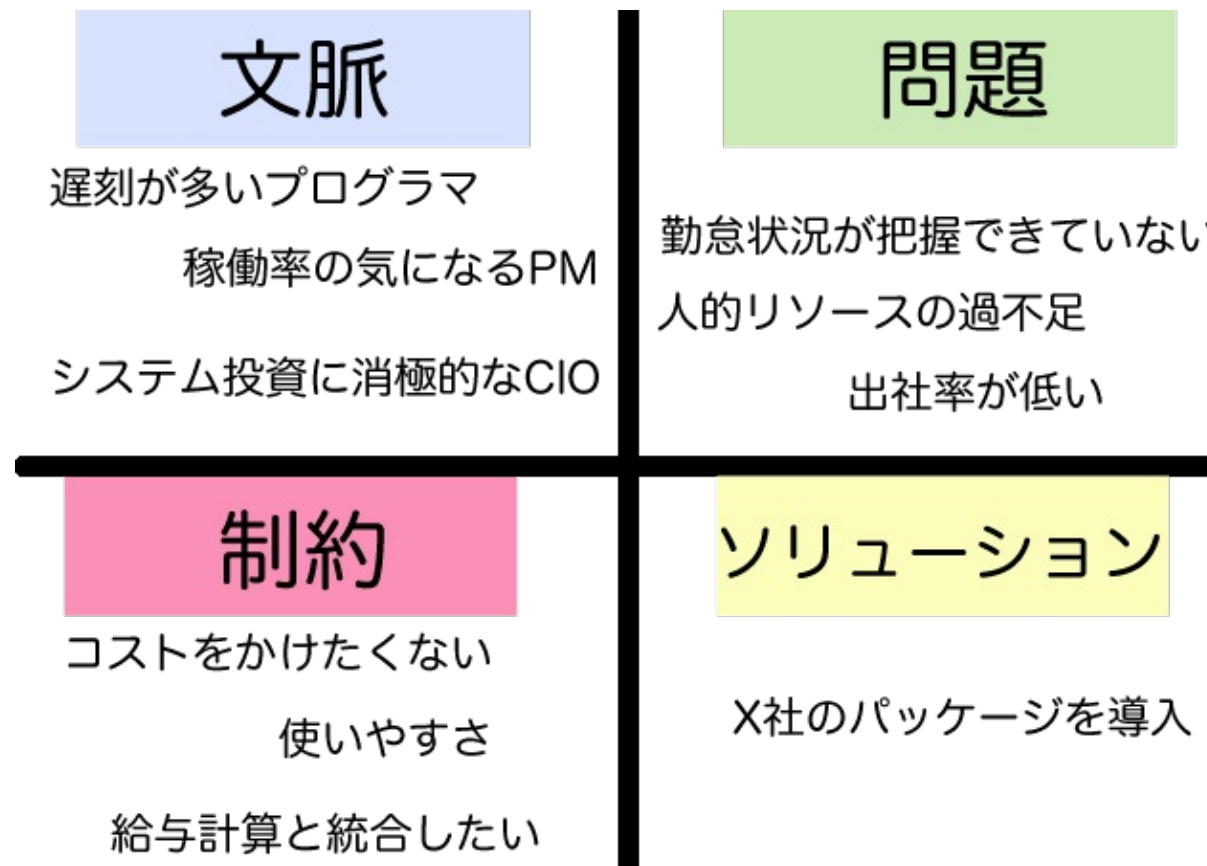
# (例) 勤怠管理を導入したい

文脈は同時に**制約**を**決める**



# (例) 勤怠管理を導入したい

## ソリューションを見直す



# (例) 勤怠管理を導入したい

ぐるぐる回していく (順・逆方向)



# (参考) 問題と制約の違い



切るなら「問題」  
残すなら「制約」

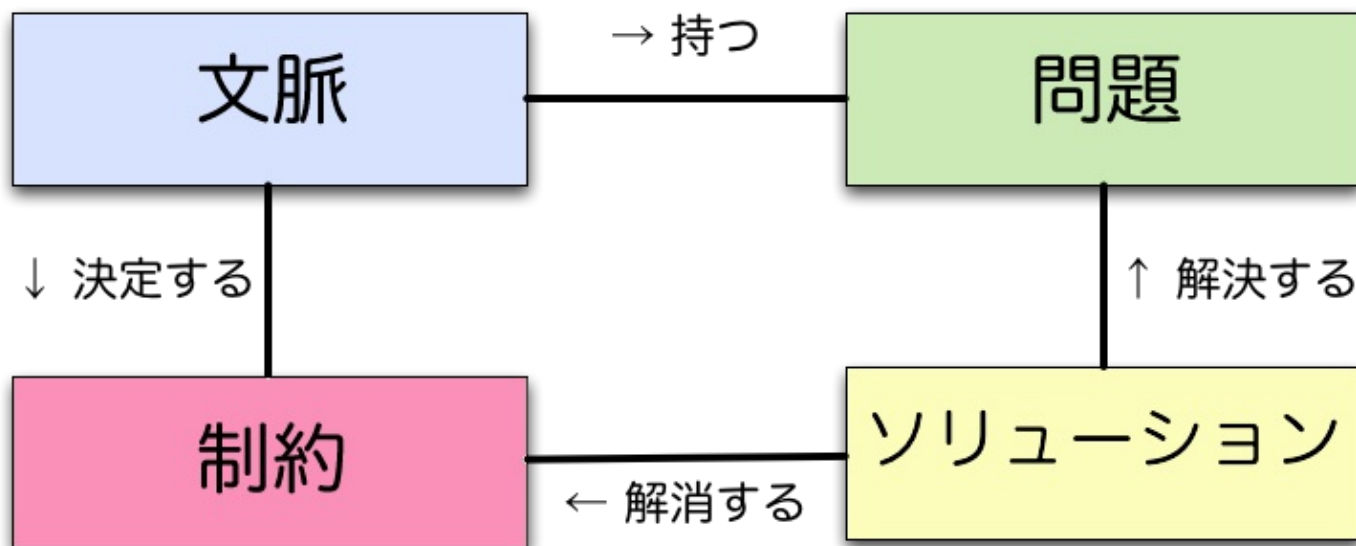
<http://www.flickr.com/photos/mrimperial/135375001/>



# 在宅勤務を導入したい

**4色カード**で書き出してみてください（8分）

- ・ うまくいっている事例 ⇒ 「ソリューション」 起点
- ・ うまくいっていない事例 ⇒ 「問題」 起点
- ・ 理論的な側面 ⇒ 「文脈」「制約」 起点





# 在宅勤務を導入したい(3分)

「文脈」 「問題」 「制約」 から

**3枚1組**の組み合わせを

いくつか作ってみてください。

※ 要素は重複しても構いません。

# パターンは**ボトムアップ**手法

“ボトムアップデザイン”は、ソフトウェアがどんどん**複雑化**していくなかで**一層重要**になってきている。

— 『On Lisp』 (ポール・グレアム)

100分経過

15:00

残り20分



# リーンの概念

---

## ■ 自動化 - 品質の作り込み

- TDD・ATDD・CI
- 見える化・職能横断型組織

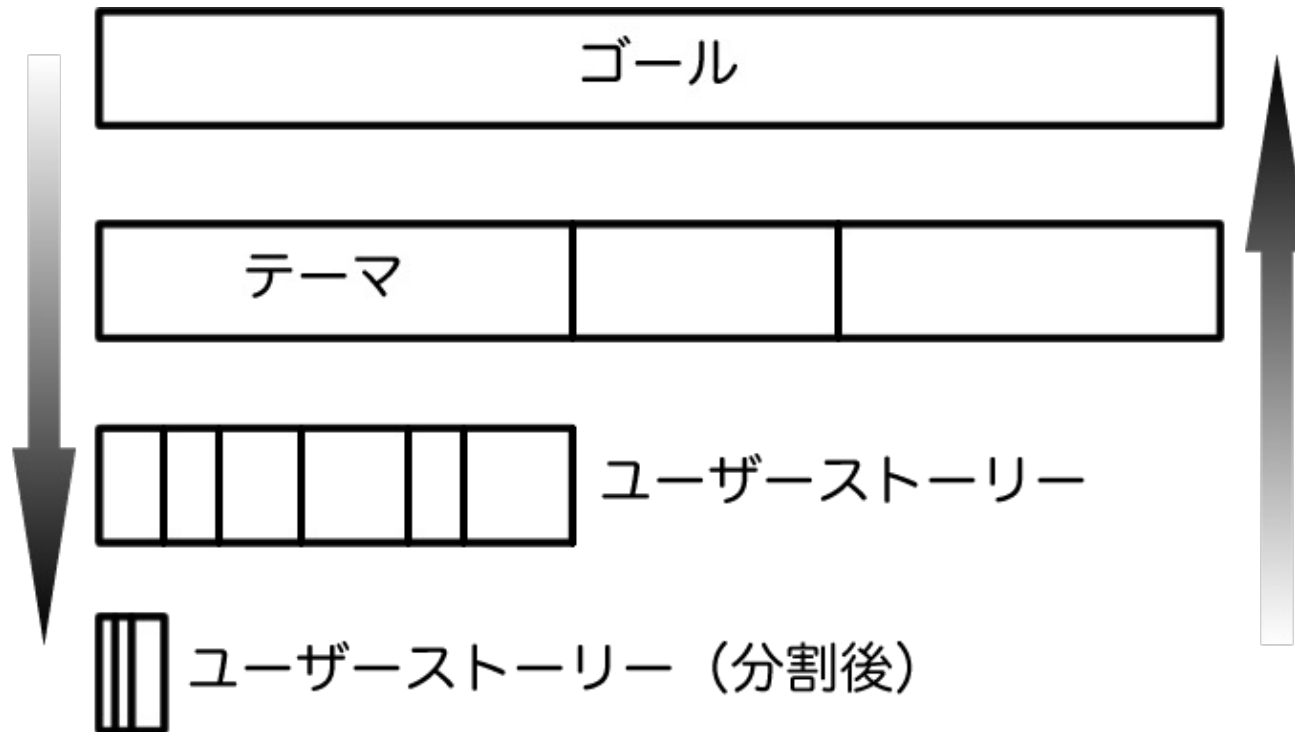
## ■ JIT - ムダ・ムラ・ムリの排除

- PBI・PO・スプリント
- プルベース・作業の平準化

[http://www.toyota.co.jp/jpn/company/vision/production\\_system/](http://www.toyota.co.jp/jpn/company/vision/production_system/)

# Complicatedなら分割できる

5つのなぜで発掘（トップダウン）



# (参考) ストーリーの**分割**

---

- データ境界
- 操作の境界
- 横断的な関心事
- パフォーマンス制約
- 優先度

『アジャイルな見積りと計画づくり』12章

# (参考) ストーリータイプで分割

1つのストーリーの4つの側面

- 基本機能
- 派生機能
- ビジネスルール
- ユーザビリティ

<http://storytypespaper.gerardmeszaros.com/>

# パターン & リーンの使い分け

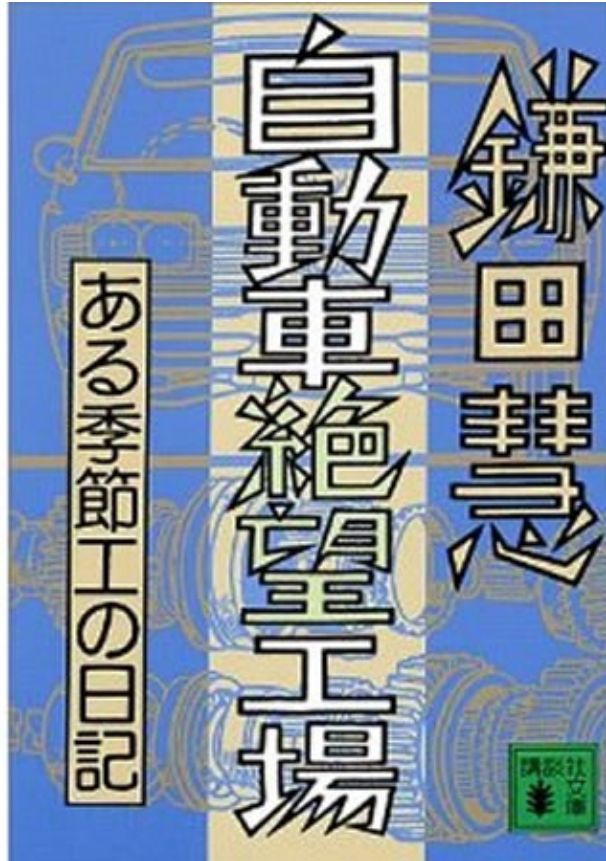
## ■ 「かたい」ところはリーン

- 把握 → 分析 → 対応
- 時間をかけて意思決定
- ソフトウェア要求・ドメインモデル  
・アーキテクチャ

## ■ 「やわらかい」ところはパターン

- 探索 → 把握 → 対応
- コミュニケーション・実験・創発
- システム要求・UI・イノベーション

# 使い方間違えてはいけない



『ゆとりの法則』（トム・デマルコ）の方がいいなあ



## ここまでのまとめ

- **物語**がないなら2つの**難しさ**がある
- ストーリーの源流は**パターン**だ
  - パターンの**構造**を参考にして、ストーリーを**ボトムアップ**で生成する
- アジャイルは**リーン**でもある
  - **入り組んで**いれば、ツリーのように**トッパダウン**で分割できる

105分経過

15:05

残り15分



# 参考書





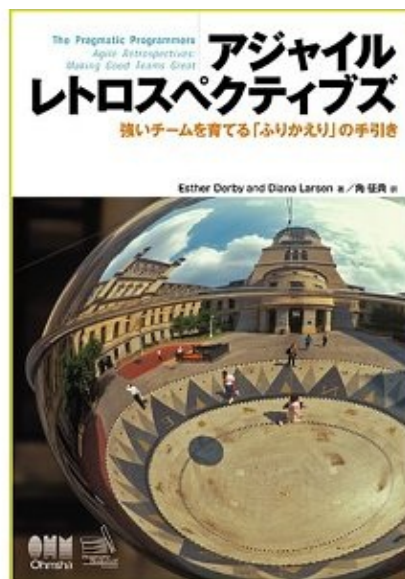
## 今日のまとめ

- ビギンズナイト・スクラムガイド
- 石・三幕構成・続きは質問
- 条件はみんなで実例とツールを
- 2つの難しさ・パターン・リーン



# ふりかえり（2分）

今日の**ワークショップ**を受けてみて、  
**現場**に戻ってやってみたいことを  
**三幕構成**で書いてみてください。





# みんなでふりかえり（5分）

よかったこと

やって  
みたいこと

いまいちだったこと

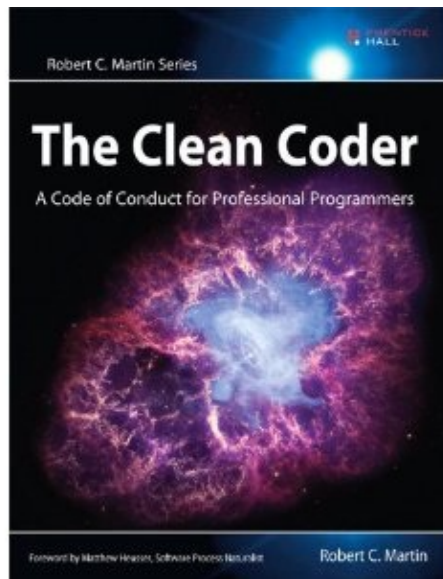
112分経過

15:12

残り8分

# 何か**質問**はありますか？（8分）

---



[kado.masanori@waicrew.com](mailto:kado.masanori@waicrew.com)

twitter: @kdmsnr

<http://www.slideshare.net/kdmsnr>